

北陸の経済について解説する西村局長「4号館講堂」



金沢学院大学経営情報部の特別講義は六月十一日、四号館講堂で行われ、北陸財務局の西村尚剛局長が経営情報学部二年生約二百人を前に「北陸経済の現状と今後に向けて」と題して、北陸の経済は特色あるものづくりが特徴。

### 北陸には確かな技術ある

#### 西村北陸財務局長が特別講義

技術の確かさとして伝統文化を維持する姿勢を貫き、時代の変化に対応しなければならぬ」と解説しました。西村局長は北陸地域の各種経済指標を挙げ、経済規模は小さいが住宅着工や貯蓄高、自家用車保有台数で全国トップクラスにある北

陸の経済を「実力のある経済社会」と位置づけました。製造品出荷額が十年前の四割に落ち込んだ繊維産業を例に、大きな市場である中国に対抗していくには、生産・管理の技術、企画・販売の技術力を高めなければならない」と強調しました。質疑では、地方の金融機関の将来性などに質問がありました。

美術工芸学科の説明を聞く参加者「6号館」



## 学びたいこと見つけた?

### 金沢学院大・短大

#### 体験授業や見学にぎわう



金沢学院大学と金沢学院短期大学の平成十六年度第一回オープンキャンパスは六月十三日、金沢市末町の大学・短大構内で行われ、集まった高校生百七十人が大学三学部、短大二学科の体験授業や学内見学ツアーで、本学の教育や施設内容に理解を深めました。美術化学部美術工芸学科日本画コースでは、中町力助教授が十人の生徒に対

し、学科のカリキュラムや講義の内容、就職課程などを説明しました。傍らでは、在学生が制作の実習を公開しました。情報デザイン学科ではCGアニメーションづくりの体験授業があり、鈴木厚志講師が生徒にアニメーションづくりのプログラムを指導しました。文化財学科では古文書を読み解く体験授業などが行われました。

#### 進路相談コーナーは、三号館一階に設けられ、各学科ごとに入試内容、試験区分、授業内容などの相談や質問に応じました。資格取得や就職状況などにも質問がありました。



短大生活文化学科食物栄養専攻の「手軽なクッキー作り」体験授業には、男子生徒四人を含む三十一人の高校生が参加しました。参加者は、粟津原理恵講師から作り方の説明を聞いたあと、バターと卵をこね、小麦粉を混ぜて生地を作り、小分けし手で丸めて形を整えたあと、オーブンで焼き上げ、お土産として持ち帰りました。

食堂では、カレーライスや定食、丼もの、麺類が無料で提供され、訪れた生徒が行われます。



CGアニメを勉強 = 4号館



金沢学院大公開講座の今年度の皮切りとなる基礎教育機構土曜大学第一回講座は六月五日、体育館で開催されました。写真「生涯スポーツを探そう」のテーマで、平井敦夫教授と板倉美紀、カレル・マイナキの両教務助手が参加者七人に生涯スポーツの考え方、取り組み方を実技を交えて指導しました。

発行・広報室